

“コロナ禍におけるソーシャルワーク実践”

社会福祉士によるコロナ禍での実践現場の課題を知り

ソーシャルワーク実践を学ぶ

新型コロナウイルス感染症が地域の人々の暮らしに様々な影響を及ぼし、それを支えるソーシャルワークの実践も様々な制約を受けています。

今回の学習会では、社会福祉士の現場での2つの取り組み事例について共有し、参加者同士の意見交換を交えて、コロナ禍におけるソーシャルワーク実践について学び合いたいと思います。

- 日時 : **2021年11月18日(木) 18:30~20:00**
- 参加方法 : オンライン (Zoom) ※ブレイクアウトセッションも行います
- 申込方法 : メールにてお申込みください。本文に氏名、地区を記載してください。
(お申込み頂いたメールに、後日 Zoom ミーティングのアドレスを送ります)
- 申込先 : 担当 **岩澤 jun-iwasawa@nifty.com**
- 申込締切 : **2021年11月12日(金)**
- Zoom ミーティングで行うので、東信地区以外の会員もご参加ください。



～プログラム～

- 18:30 開会 挨拶・進行説明
- 18:35 実践事例発表① (児童分野)
「コロナ禍における家庭支援の在り方について」
東信教育事務所 スクールソーシャルワーカー 小林翠氏 (本会会員)
- 18:55 質疑応答・意見交換
- 19:15 実践事例発表② (地域福祉分野)
「コロナ禍における今夏の災害支援の実践より」
本会・災害福祉支援運営委員会 委員長 山崎博之氏 (本会会員)
- 19:35 質疑応答・意見交換
- 20:00 閉会